

授業科目名	教育インターンシップ基礎論
科目番号	CB11051
単位数	1.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB月5
担当教員	教育学類長, 名畑目 真吾, 遠藤 優介, 唐木 清志, 朝倉 雅史
授業概要	この授業では、教育インターンシップ実践演習において実際に教育現場を訪問することに先立ち、どのような教育現場があるのか、そこではどのような人たちが働いているのか、さらには、どの人たちはどのような教育活動を展開しているのかを、調べ学習やゲストの講話を通して理解することを目的とする。
備考	教育学類生に限る 実務経験教員 対面 ※必修科目
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	2. 教育学の基礎的体系的知識 4. 教育的実践力
授業の到達目標（学修成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育現場(学校教育・社会教育)の現状と課題について学び、教育事象について考察する上での問題意識を明確化することができる。</li> <li>・教育現場で参与観察を行う際の基礎を学び、具体的な観察の視点を獲得することができる。</li> </ul>
授業計画	<p>本授業は、「教育インターンシップ実践演習」の準備的位置付けとして、実際に教育現場を訪問し実習を行うために必要な基盤を形成することを主眼とする。ゲストによる講話の聴講や調べ学習などを取り入れながら展開する。</p> <p>第1回 ガイダンス、名簿作成、インターンシップの目的・意義 第2回 ゲスト講話1 茨城県の学校教育 第3回 ゲスト講話2 つくば市の学校教育 第4回 ゲスト講話3 つくば市の社会教育 第5回 実践演習への準備1 訪問先の希望調査 第6回 ゲスト講話4 地域の教育現場より(1) 第7回 ゲスト講話5 地域の教育現場より(2) 第8回 ゲスト講話6 地域の教育現場より(3) 第9回 実践演習への準備2 教育現場における参与観察の視点の検討 第10回 実践演習への準備3 訪問にあたって(事前ガイダンス)</p> <p>※ゲスト講話については、予定を変更する場合がある。</p>
成績評価方法	<p>次の2点により評価し、総合的に判断する。</p> <p>(1) 授業内で出された課題レポートをすべて提出し、合格すること。 (2) 授業参加への積極性</p>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業内で出されるレポート課題に取り組むこと。
教材・参考文献・配付資料等	指定なし
オフィスアワー等（連絡先含む）	各担当教員に事前連絡をしてから訪問すること。
その他（受講生にのぞ	「教育インターンシップ実践演習」において、有意義な活動を行えるよう、参与観察の

むことや受講上の注意 点等)	<p>ための視点の確立を積極的に心がけてほしい。</p> <p>※「教育インターンシップ基礎論」と「教育インターンシップ実践演習」は別科目として、それぞれ履修登録が必要であるため秋学期の履修登録の際は十分注意すること。</p> <p>なお、「教育インターンシップ実践演習」は、「教育インターンシップ基礎論」に合格していないと履修が許可されず自動的に不合格となるため、合わせて注意すること。</p>
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチング アシスタント (TA)	TA配置有り (1名)
キーワード	つくば市, 教育現場, 参与観察の視点